



# とうえい

令和4年10月17日  
東栄小学校  
学校だより第6号

## 自分自身の成長を見つめよう！

金木犀の甘く爽やかな香りが漂い始めました。先日の学校集会で次のような話をしました。～9月30日（金）に行われたTOHEI OLYMPICSでは、全力で走る姿、楽しそうに踊る姿、自分たちが企画した種目を生き生きと運営している姿など、子どもたちの頑張っている姿を見てとてもうれしく思いました。



高学年のある子が「やり直しができたらなあ。リレーを走っていて友達に抜かれたのが悔しかった」と言っていました。みなさんもTOHEI OLYMPICSに限らず、「やり直しができたら」と思うことがたくさんあるのではないのでしょうか？もちろん、私も同じです。「小学生や中学生の時にもっと勉強しておけばよかった」「あ のとき、本当はもっと頑張れたはずなのに、なんでやらなかったのだろう」と後悔することもあるでしょう。しかし、誰でもその時はその時なりに頑張ってきたのではないかと思います。走ることが速い子もいれば、速くない子もいます。人の能力はそれぞれ価値があります。例えば、100mを10秒で走ることができる人と、20秒かかる人がいたら、それ自体どちらも同じ価値です。というのは、どちらのタイムも精一杯走った結果だからです。でも、「10秒で走れる人が手を抜いて15秒で走る」と「20秒かかっていた人が頑張って15秒で走る」を比べると価値があるのはどちらだと思いますか？同じ15秒で走ったとしても、20秒かかっていた人が頑張って15秒で走った人の方が、価値があります。運動に限らず、些細なことでも自分自身の頑張りをよく見つめ、努力して成長したという実感を味わい、努力したという価値を大事にしてほしいと願っています。～

自分自身の成長を見つめるためには、まわりの環境の影響は大きく、自分が成長できるような環境、自ら積極的に求めていく姿勢が必要となります。自分にある程度の刺激を与えてくれて、少し背伸びをすれば届くかもしれないと思えるような憧れの人が、身近にいる環境が理想的だと思います。大人として子どもの特性を見抜き、その子が一番活躍できるような環境を整えてあげることが大切ではないでしょうか？

### ～いいところみつけの旅 その6～

先月、自転車通学をしている高校生が道路の路肩にぶつかり転んでしまいました。登校途中、その場に出会った高学年の子たちが、高校生に「大丈夫ですか？」と声をかけ、自転車を起こしてあげていました。思ったことをすぐに行動したやさしさに心が打たれました。

(校長 井田 寿)